

平成27年度板橋区立アートギャラリー
指定管理者の管理運営業務評価結果について

1 施設概要

- (1) 施設名 板橋区立アートギャラリー
- (2) 所在地 板橋区成増三丁目13番1号
- (3) 開設時期 平成9年9月1日
- (4) 設置目的 区民のための美術の振興を図り、文化の向上に資する。
- (5) 建物概要 敷地面積 617.82㎡ 延床面積 322.05㎡ 鉄筋コンクリート造
地上8階、地下2階の3階部分
ギャラリーA 86.1㎡ ギャラリーB 76.3㎡ ギャラリーC 38.1㎡

2 指定管理者概要

- (1) 名称 株式会社図書館流通センター
- (2) 所在地 文京区大塚三丁目13番1号
- (3) 指定期間 平成25年4月1日 から 平成30年3月31日

3 管理運営業務

- (1) アートギャラリーの利用に関すること
- (2) アートギャラリーの施設、設備の維持管理に関すること
- (3) その他、アートギャラリーの管理運営に関し区長が必要と認める業務

4 評価委員会概要

- (1) 目的 アートギャラリーについて、効率的な運営やサービス水準の維持・向上など、指定管理者制度の導入目的に則り適切に運営されているかどうかを現地調査等を行い評価・検証する。
- (2) 評価者 板橋区立アートギャラリー評価委員会
- (3) 委員構成 5名（外部委員2名、区職員3名）
- (4) 開催日 平成27年11月6日（金）第一回評価委員会 現地調査及びヒアリング
平成27年12月2日（水）第二回評価委員会 総合評価

5 評価方法

次の①～⑤の結果をもとに、評価委員が下記の評価項目ごとに5段階（5点～1点）で採点し、各委員の採点の合計により下記A～Eの5区分により総合評価とした。

- ① 指定管理者が作成した事業報告の内容審査
- ② 利用者アンケート（満足度）調査結果の審査
- ③ 現地調査及びヒアリング
- ④ 指定管理者の財務状況審査
- ⑤ 指定管理者が雇用する従業員の労働条件審査

なお、指定管理者の財務状況及び現場従業員の労働条件は、中央図書館が行った(株)図書館流通センターの点検結果を参考として審査した。

6 評価項目

- (1) サービス水準の評価
 - ① 利用率の向上（3項目）
 - ② サービスの維持向上（3項目）
 - ③ 成増図書館との連携（2項目）
- (2) 運営状況評価
 - ① サービスの提供に関すること（7項目）
 - ② 事業運営に関すること（8項目）（「職員の労働条件」は小項目が3項目ある）

- ③ 施設管理に関すること (2項目)
- ④ 費用効果に関すること (2項目)
- ⑤ 指定管理者の継続性・安定性に関すること (2項目)

7 総合評価区分

- A 特に優れている 合計点 620 点以上 (775 点満点の 80%以上)
- B 優れている 合計点 543 点～619 点 (775 点満点の 70%以上)
- C 適正である 合計点 388 点～542 点 (775 点満点の 50%以上)
- D 更に努力が必要である 合計点 310 点～387 点 (775 点満点の 40%以上)
- E 改善すべき点がある 合計点 309 点以下 (775 点満点の 40%未満)

8 評価結果

評価項目	評価合計
1 サービスの水準評価	
(1)利用率の向上 ①観覧者数 ②貸出日数 ③利用率	35 点 / 75 点
(2)サービスの維持向上 ①受付・案内 ②団体・障がい者サービス ③日常清掃以外の清掃・巡回	55 点 / 75 点
(3)成増図書館との連携 ①図書館事業での利用回数 ②絵本館資料の活用	30 点 / 50 点
2 運営状況評価	
(1) サービスの提供 ①施設設置目的との整合性 ②平等な利用の確保 ③利用を促す管理運営 ④利用者本位の管理運営 ⑤ノーマライゼーション ⑥安全対策 ⑦モニタリング	125 点 / 175 点
(2) 事業運営 ①職員の配置体制 ②職員の専門性 ③職員の雇用形態 ④職員の労働条件 ⑤職員の研修体制 ⑥地域貢献 ⑦危機管理体制 ⑧情報管理	178 点 / 250 点
(3) 施設管理 ①設備の保守点検 ②環境対策	34 点 / 50 点
(4) 費用効果 ①経済性・効率性 ②妥当性	31 点 / 50 点
(5) 指定管理者の継続性・安定性 ①理念・方針 ②経営基盤	43 点 / 50 点
評価 総 合 計	531 点 / 775 点
総合評価 C = 適正である	
<p>[評価委員会所見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイレクトメールや沿線大学にパンフレットの配置など、さまざまな努力により利用率が増加していることが評価できる。自由な発想のもと引続き努力していただきたい。 ・美術館のノウハウ等を取り入れながら、出来る範囲の中での壁・床の補修をお願いしたい。 ・各展示の初日に発信しているブログが、展示の詳細プロフィールなどに及んでいる点が高評価できる。若い世代の利用を促す意味でも、更に活用されたい。 ・利用者アンケートによると、見回りや展示作業の手伝いなど、地道で柔軟な対応が、利用者の安心感と満足につながっているようで、スタッフの質の向上が窺えた。 ・利用が途切れている期間などは、美術館等と連携した事業での利用も検討されてはどうかと思われた。 ・図書館と連携した事業の企画実施など、工夫して効率的な事業運営を行っていることは評価できるが、スタッフも同一なことから図書館業務とアートギャラリー業務に従事するそれぞれの時間数が、より明瞭かつ効率的になる工夫も必要ではないかと思われた。 	